資料５－１

森構想エリア内における環境学習の推進に向けた今年度の取組と今後について

令和５年度

■森構想エリア内における環境学習の現状把握

（１）基礎調査
- 既存資料などをもとに環境学習あるいは環境分野に関する活動を実施している企業及び市民団体について調査。

（２）アンケート調査
- 基礎調査で把握した企業・市民団体を対象に、環境学習を実施する目的や課題、ニーズ等について把握。
- 全 32 通（企業 21、市民団体 11）

（３）ヒアリング調査【資料 5-2】
- 県内及び尼崎市内における環境学習の現状や課題等について、行政・教育機関を対象に実施。
- アンケート回答者を対象に、環境学習の展開に向けた課題や今後の展望について調査。

★森構想エリア内における環境学習の特徴

特徴①：郷土種を用いた生物多様性の森や、運河・海、工場などの多様な環境で、様々な形態の環境学習が行われている

特徴②：各事業者・団体の専門分野をいかした環境学習が行われている

特徴③：幅広い年齢層を対象に環境学習が行われている

★森構想エリアでの環境学習を推進していくための課題

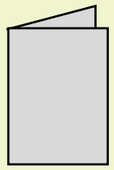
- 課題① サポート体制やしくみの充実
- 課題② 繋がる場の創出
- 課題③ 情報の発信・共有

★森構想エリア内における環境学習への参画の可能性

〇企業版森の会議の実施（情報共有・意見交換の場）
〇イベント参加・出展
〇施設見学の受け入れ
〇資材・廃材等の提供
〇環境に関する取組についての情報提供
〇関連企業への周知　…など

■第１回協議会意見より
・受け手である学校側のニーズについての調査が必要。

■森構想エリア内における環境学習の推進に向けた企画資料（案）【資料 5-3】



森構想エリア内における環境学習の推進への協力を呼び掛けるための、企業・団体等向けの説明資料

■尼崎運河クルーズ＆環境学習フェスティバルの開催
〇団体・企業の出展による環境学習の PR
〇尼崎運河クルーズ社会実験の実施

■尼崎 21 世紀の森 SDGs 賞の贈呈 → ■尼崎 21 世紀の森 SDGs ガイドブックへの追記

令和６年度～

■森構想エリア内における環境学習の推進に向けた取組（案）

■環境学習の受け手側のニーズ調査
〇環境学習のニーズ把握のため、学校関係者を対象としたヒアリング調査を実施。

■企業版森の会議の開催
〇企業・団体間での情報共有・意見交換の場・機会の創出
〇企業・団体間の連携促進
〇専門家や経験者による支援等

■企画資料を活用した企業・団体への PR
〇取組状況の周知と新規企業・団体への参画の働きかけ

■尼崎 21 世紀の森・環境学習フォーラム 2024 の開催
〇学生の成果発表の場として開催し、森構想エリア内での環境学習の取組等を情報発信

運河を活用した環境学習の展開

■尼崎運河魅力アップ事業
〇北堀キャナルベースを活用した賑わい創出イベントの開催

新規参画企業・団体の表彰

表彰企業・団体の参画

■尼崎 21 世紀の森 SDGs 賞の継続
■尼崎 21 世紀の森づくり SDGs 推進ガイドブックの活用